

教育の情報化を考える (教育の情報化概論)

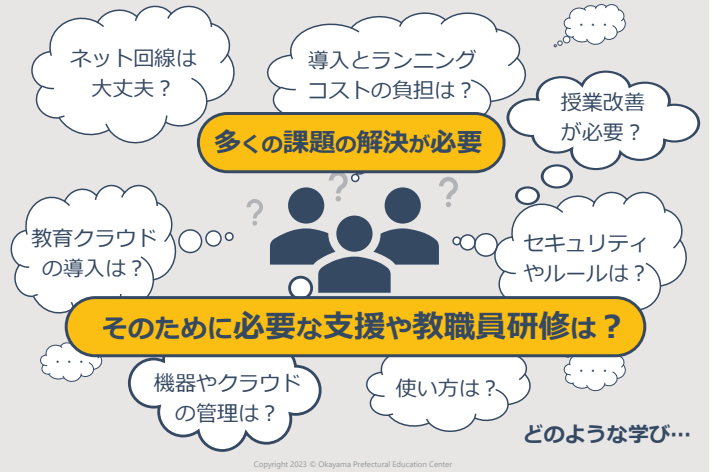
【ねらい】

令和の日本型学校教育の構築と教育の情報化の考え方を踏まえ、GIGAスクール構想実現に向けた本校の取組を振り返り、新たな課題を把握することができる。

【内容】

- ① 教育の情報化の三本柱
② 令和の日本型学校教育の構築とICT活用
③ GIGAスクール構想の実現に向けて

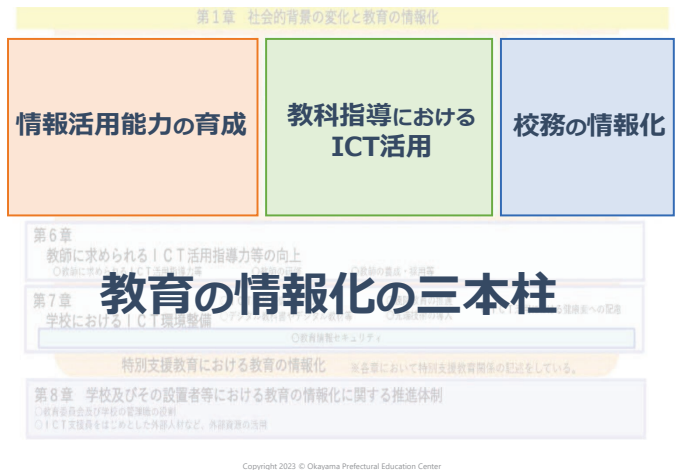
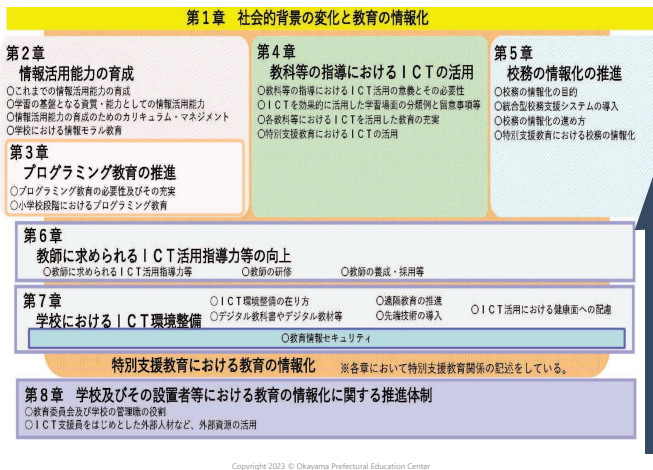
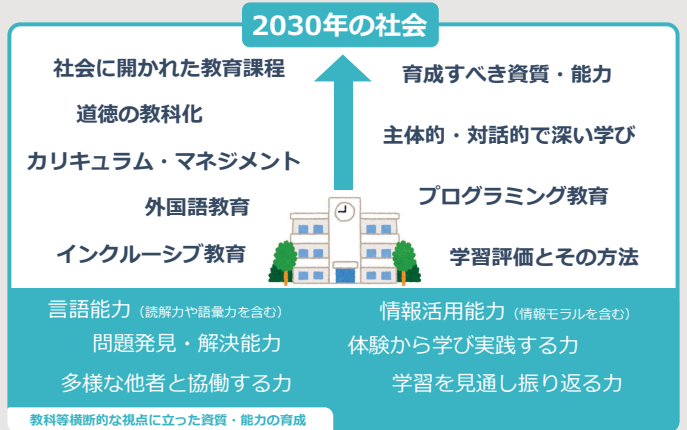
【活動】 校内の「ICT活用」についての取組を振り返り、更なる活用に向けて課題を整理しよう。



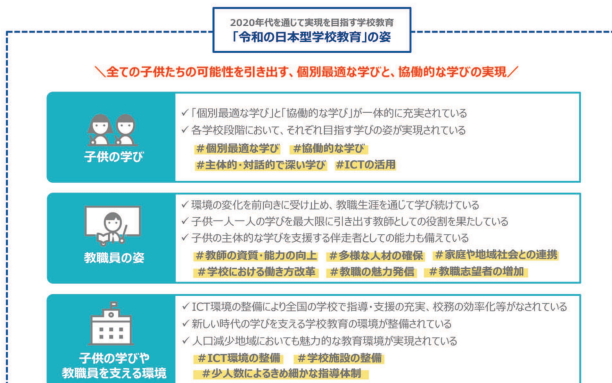
児童生徒の資質・能力の向上につながるICT活用になっているか?

ICT活用に向けた教師の資質・能力を向上させる取組が、校内外にあるか?

ICT活用に向けた環境が整備されているか?



3.2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿



個別最適な学び【学習者視点】(=個に応じた指導【教師視点】)

子供が自己調整しながら学習を進めていく

- 指導の個別化
- 子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、
- 教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う
- 一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める
学習の個性化
- 子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、
- 教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会を提供を行う
- 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる

協働的な学び

- 子供一人一人のよい点や可能性を生かし、
子供同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する
- 異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す

4.「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性

改革に向けた6つの方向性

(3) これまでの実践とICTとの最適な組合せを実現する

「二項対立」の陥穽に陥らない！
 どちらの良さも適切に組み合わせて生かしていく

- 一斉授業 or 個別学習
- デジタル or アナログ
- 履修主義 or 修得主義
- 遠隔・オンライン or 対面・オフライン

参考文献：文部科学省「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、教育現場へつなぐ～（令和4年8月22日発表）
https://www.mext.go.jp/b_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center

③ GIGAスクール構想の実現に向けて

GIGAスクール構想

Global and Innovation Gateway for All

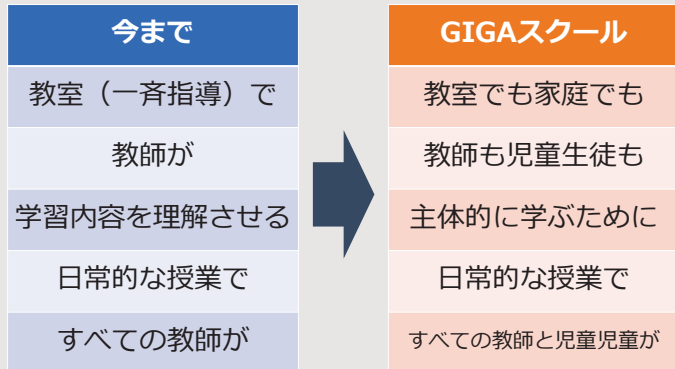


多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、
 公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するもの

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center

③ GIGAスクール構想の実現に向けて

ICT活用環境の変化



学びの環境の変化への対応が必要

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center

③ GIGAスクール構想の実現に向けて

【遠隔技術の活用】（活用ノウハウ + システムや機器）

・学校現場での活用

多様な経験の場、少人数教育、合同授業、
 一流の講師の授業、不登校への対応、
 病気療養児への対応
 高等学校 … 教科・科目充実
 支援学校 … 訪問教育

遠隔技術は
 学校教育の
 大きな可能性

・研修講座での活用 → **ブレンド型学習**
 担当者研修の負担軽減、遠隔技術の研修

・会議での活用

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center

4.「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性

改革に向けた6つの方向性

5.「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

【基本的な考え方】

✓ 学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なもの
 ✓ これまでの実践とICTとを適切に組み合わせていく

→ Society 5.0時代にふさわしい学校の実現！

- ▶ 学校教育の様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげる
- ▶ PDCAサイクルを回し、効果検証・分析を適切に行う
- ▶ ICTを活用すること自体が目指してしまわないよう留意

参考文献：文部科学省「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、教育現場へつなぐ～（令和4年8月22日発表）
https://www.mext.go.jp/b_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center

③ GIGAスクール構想の実現に向けて

ICT活用のねらい（授業での教員によるICT活用）

- 1 学習に対する児童生徒の**興味・関心**を高める
- 2 児童生徒一人一人に**課題**を明確につかませる
- 3 **わかりやすく説明**したり、児童生徒の**思考や理解**を深めたりする
- 4 学習内容をまとめる際に児童生徒の**知識の定着**を図る

出典： https://www.mext.go.jp/b_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm
 第3章 教科指導におけるICT活用 P53 から抜粋

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center

③ GIGAスクール構想の実現に向けて

ICTを活用した学習場面

A 一斉学習 挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することが可能となる。また、子供たちの興味・関心を高めることも可能となる。	B 個別学習 デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習進度に合わせた学習や、関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。	C 協働学習 タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などを行い、お互いの考えを高めあうことで、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。
A1: 教員による教材の提示 画像の拡大操作や書き込み、音声、動画などの活用	B1: 調べ応じる学習 一人一人の学習進度に応じた学習	C1: 発表や話し合い グループや学級全体での発表・話し合い
B3: 思考を深める学習 シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	B4: 表現・制作 マルチメディアを用いた表現、作品の制作	C2: 協働での意見交換 議論の意見・考えを議論して整理
B2: 調査活動 インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	B5: 家庭学習 授業後の持ち帰りによる家庭学習	C3: 協働制作 グループでの話し合い、協働による作品の制作
		C4: 学校の壁を超えた学習 遠隔地や海外の学校との交流授業

『ICTを活用した指導方法～学びのイノベーション事業 実証研究報告書より～』2015

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center

【活動】 校内の「ICT活用」についての取組を振り返り、
 更なる活用に向けて課題を整理しよう。

児童生徒の資質・能力の向上につながるICT活用になっているか？	ICT活用に向けた教師の資質・能力を向上させる取組が、校内外にあるか？	ICT活用に向けた環境が整備されているか？
学校全体		個人

ICT活用促進に向けた行動計画

Copyright 2023 © Okayama Prefectural Education Center